

資料 提 供	
平成25年12月24日	
担当課 (担当者)	中部総合事務所福祉保健局 (倉吉保健所) 健康支援課(坂本・津川)
電話	0858-23-3145

施設における感染性胃腸炎の集団発生

12月24日(火)に、中部総合事務所福祉保健局に下記のとおり、「園児に嘔吐、下痢の症状が発生しており、有症状者からノロウイルスが確認されている。」との報告がありました。

記

1 集団発生の状況 (平成25年12月24日(火)午後2時現在)

施設名 (代表者 職・氏名) 所 在 地	在籍者数	累計患者数	現有症状者数
倉吉市立西郷保育園 (園長 米田 美奈子) 倉吉市下余戸129-1	園児 85人 職員 18人	園児 20人 職員 0人	園児 8人 職員 0人
医療法人財団共済会 清水病院託児所 びよびよ園 (理事長 清水 正人) 倉吉市宮川町129	園児 8人 職員 3人	園児 5人 職員 0人	園児 2人 職員 0人

※患者のプライバシー保護の観点から、当該施設への取材には御配慮ください。

2 今後の対応

- (1)施設及び家庭での二次感染防止対策の徹底の指導
- (2)園児及び職員の健康調査の継続
- (3)病原体の調査

<感染性胃腸炎(5類感染症)>

- 感染性胃腸炎とは、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状を主とする感染症です。
- 原因としては、細菌性のものとウイルス性のものがあり、ウイルス性のもののうち、ノロウイルス及びロタウイルスが代表的なものです。
- 鳥取県感染症流行情報第50週(12月9日～12月15日)によると、東部地区で流行、及び西部地区でやや流行、中部地区で散発の状況です。

<各施設における予防対策>

- 下痢、嘔吐、腹痛などの症状があった場合は、早めに医療機関を受診すること。
- 施設利用者等に用便後、調理前後、食事前の手洗いの励行を徹底すること。
- 下痢便や嘔吐物の処理をする場合は、使い捨て手袋を使用するとともに、手洗い、十分な消毒を行うこと。
- 有症者は、シャワー浴に限定すること。
- 手すり、ドアノブ、汚染衣服等の消毒を行うこと。
- 施設内で予防対策を確認し、正しい知識を普及すること。

※ この資料は、倉吉記者クラブにも提供しています。